

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



実りの秋。市民参加で楽しい稲刈り



特集

- どうみる！ 3年連続黒字決算 . . . 2~4
- 常任委員会調査・研究レポート 5~7
- 9月議会の主な審議・賛否一覧 8~9
- ここが聞きたい！一般質問
- 12月議会日程案 10~14
- 請願・意見書、陳情 15
- 表紙のことば・議会Q&A・編集後記 16
- 別刷 路線バスの今後・研修報告
- 9月議会議決結果一覧

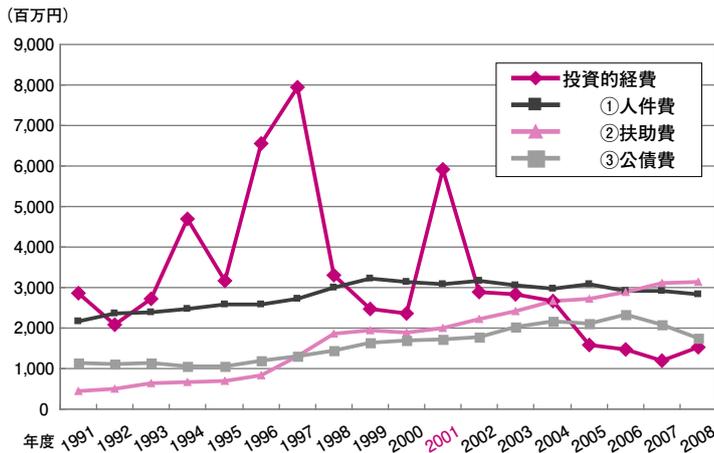
第49号

平成21年（2009年）

11月6日

発行責任 古賀市議会

古賀市・性質別歳出の推移



投資的経費は抑制、扶助費が急増

中村市政（1998年12月以降）のもとでは、2001年度のグリーンパーク2期事業を除けば投資的経費を大きく抑制。人件費の抑制と扶助費の急増が大きな特徴となっています。1996年の投資的経費は市制施行への公共事業によるものです。



実質収支、3年連続黒字
公債費の大幅減と人件費抑制が要因

9月議会では5日間にわたって平成20年度決算について集中審議しました。第3次行革による人件費の抑制、グリーンパーク等の整備に関する公債費の減で、実質収支は3年連続で黒字でした。議会は賛成多数で決算を認定しました。主な審議内容をご紹介します。

昭和54年に建築された構造上危険な状態にある古賀中管理棟を耐震性のある建物へ改築しました。技術室等の解体、教室棟改修、管理棟の改築に取り組みました。

古賀中学校管理棟改築
1億9981万1千円

JR新駅周辺整備
5億1866万2千円

JRししぶ駅（平成21年3月開業）の自由通路、駅前広場、市道拡幅整備、用地買収等に取り組みました。財源は、国庫支出金が2億1200万円、地方債2億6990万円、一般財源3676万2千円でした。

平成20年度古賀市会計別決算（単位：円、千円以下切捨て）

会計	歳入 (A)	歳出 (B)	翌年度繰越財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
一般会計	159億 1,058万	153億 2,310万	1億 3,324万	4億 5,423万
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,767万	1,930万		873万
国民健康保険特別会計	50億 3,203万	49億 3,030万	13万	△ 551万
老人保健特別会計	4億 5,454万	4億 6,006万		△ 551万
後期高齢者医療特別会計	4億 4,938万	4億 4,297万		641万
介護保険特別会計（保険事業勘定）	25億 731万	24億 544万		1億 187万
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	2,827万	2,781万		45万
公共下水道事業特別会計	18億 6,947万	18億 5,320万	1万	162万
農業集落排水事業特別会計	3億 211万	2億 9,206万	13万	992万
総合計	265億 8,141万	257億 5,426万	1億 3,353万	6億 9,361万

公営企業会計

会計	収益的収支（税込）		資本的収支（税込）	
	収入	支出	収入	支出
水道事業会計	10億 9,082万	10億 2,596万	4,379万	3億 6,330万

実質収支で約7億円の黒字（一般会計と特別会計の合計）
健全化比率及び資金不足比率を公表。古賀市はともに「健全」

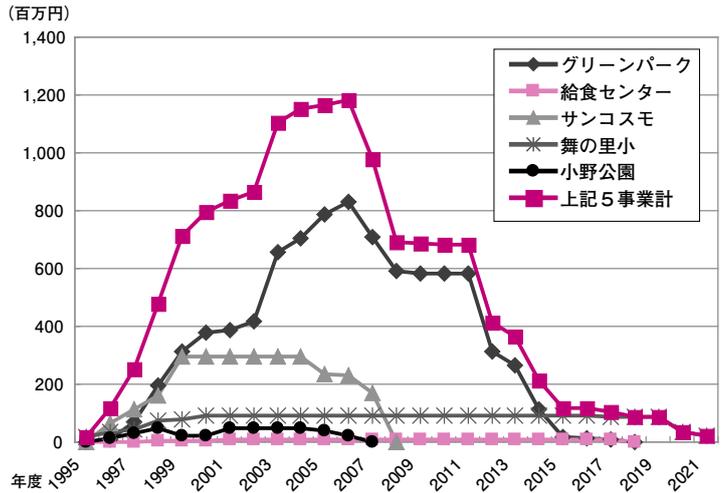
9月議会では、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の施行により、国の定める算式で実質赤字比率などの数値が初めて公表されました。古賀市はどの数値でも健全であることが確認されました。基準を越すと財政再建計画等の策定が義務付けられる場合があります。（詳しくは「広報こが」10月号をご参照ください。）

メタボ健診・保健指導
受診率21・8%
903万1千円

平成20年度から始まった特定健診は、目標受診率35%に

対し結果は21・8%でした。受診率向上対策や国保会計で扱う問題などを指摘する意見が出されました。

古賀市・グリーンパーク等の償還推移と推計



借金返済は 2006 年度でピーク越す

グリーンパークに関する返済額が 2006 年度に約 8 億 2,900 万円でピークを越したことが大きく影響し、2008 年度は対前年度比で返済額が 3 億 3,500 万円も減少しました。

玄界環境組合負担金

8億3739万9千円

この負担金は清掃工場に関する負担金で対前年度比 6654 万円の増、過去 4 年間で 44% もアップしています。市長はこれについて、負担金シミュレーションを見直す、経営合理化で負担軽減を図る、廃プラの有効活用や操炉パターンの検討などを進め

コミュニティ活動推進事業

321万円

小学校区単位のコミュニティ組織を磐石にし、住民自治の確立を目指すことで、より住みよい地域社会の実現のために、校区コミュニティ支援事業交付金(花鶴・古賀西小校区各 20 万円)・校区まちづくり応援事業交付金(小野・

たいと答弁しました。

特別支援教育支援員の配置

308万円

古賀東・花見・千鳥小校区各 20 万円)が使われました。

特別支援教育支援員を全校(11人)配置、訪問型特別支援教室(ひまわり教室)に 2 人を配置し、障害のある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた、きめ細かい教育の推進を図りました。ひまわり教室主任指導員は、小学校を訪問し、観察・支援・保護者面談などを実施し、成果をあげました。

●地方交付税の大幅カットを背景に行革が実行され、市民や職員に負担と我慢を強いた決算である。グリーンパークの事業費を大幅に圧縮したことで財政破たんを未然に防いだことが確認できた。財政の改善傾向のもとで、定数削減・人件費カット・民間委託等を見直すべきだ。このままでは、職員の疲弊、住民サービスの後退をもたらす。増加し続ける清掃工場負担金は、市財政を圧迫する大きな負担だ。

平成 20 年度一般会計決算の討論

本会議 (9 月 28 日) における討論要旨

反対討論 1 人

賛成討論 3 人

●予算内で執行しており、計画に基づいたものがほとんどで問題のない範囲内であると確認した。投資的経費の古賀中の大規模改修・JRししぶ駅関連事業などは、市民全体のためにもよかった。福岡女子看護大学への図書購入補助も、当市と大学の間で「健康・看護と福祉の充実」など官学連携の締結につながる良い結果を得て今後に期待が持てる。

●かなり厳しい財政状況の中であるが、古賀市の財政状況は健全財政である。教育面については、特別支援教育支援員の配置・低学年少人数学級・小1プロブレム・中1ギャップ対策講師の配置・中学校部活の外部講師派遣など、高く評価できる。最低限での職員で予算に沿った業務執行を確実にやっていることから、承認できる。

●地方交付税や補助金等の大幅な歳入減を余儀なくされる中、扶助費などの義務的経費の増大は財政を硬直化させる原因となり、投資的経費を抑制せざるを得なかった点は理解できる。貸借対照表を見れば、職員の努力により、将来世代へ先送りする負担割合も低く、次年度、次世代へつなぐ役割を果たすことができた決算であったと評価し、賛成とする。

●決算特別委員会

財政の効率的運営と
 市民サービスの対応を検証

委員長 飯尾 助広

議長、監査委員を除く18人の議員による決算特別委員会
 は一般会計、7特別会計ほか
 水道事業会計の平成20年度決
 算について、行財政改革の中
 で予算の有効的な執行とその
 効果が十分だったか、市民へ
 のサービスはきちんとしてい
 るかなどの面から審査しま
 した。

一般会計

歳出面で職員の配置や研修
 の状況、市財産の管理・運営、
 防犯灯などの安全・安心のま
 ちづくり、総合振興計画策定
 について。千鳥苑の利用状況、
 配食サービス減少の理由、扶
 助費の推移についてなど。ク
 ロスバルこがの利用状況、各
 種予防接種・がん検診の受診
 状況、清掃工場の負担金、中
 小企業に対する融資、公園等
 公共施設維持管理、中央公民

特別会計

住宅新築貸付金の回収状
 況、国民健康保険予算減額の
 理由、特定健診目標未達、介
 護保険料見込みの相違、未納
 者に対する対応、認知症の把
 握とサービスの状況について。

水道事業会計

大口需要先の開拓、小竹地
 区の加入状況、供給単価・給
 水原価、福岡水道企業団との
 関係について。
 討論・採決の結果、一般会計、
 各特別会計決算等を認定しま
 した。

賛成討論 2人

国民健康保険特別会計決算の討論

反対討論 1人

- 後期高齢者保険制度の開設で、大幅に内容が変わった会計ではあるが、予算に基づいた決算状況は、数字の上では、不備はなく適正であったと判断する。後期高齢者医療制度廃止に対応出来る体制を準備する事が必要。世界に誇れるこの国民皆保険制度が堅持されることを強く望み賛成。
- 特定健康診査等事業は目的意識を明確にし、より良い制度を目指したい。税負担の公平性を堅持しつつ、滞納者対策強化を期待し、賛成とする。

- 後期高齢者支援分が加わり保険税がアップした。滞納や受診抑制などの問題も発生。メタボ健診のスタートは、国保の基本原則から逸脱している面もあるし、国保と健康づくりが分断され、保健師が業務に追われている。新政権は後期高齢者医療を廃止すると公約しているが、国民皆保険制度を守り、医療制度の抜本的改革を強く求める。

賛成討論 2人

介護保険特別会計決算の討論

反対討論 2人

- 数字の上で問題はなく、むしろ厳しい状況の中で、関連する職員が、試行錯誤しながら奮闘したことを感じる。今後は、政権が変わり、制度自体も形が変わっていくかもしれないが、国の状況をしっかり見極め、市民福祉の向上に努めていただきたいと望み賛成する。
- 介護療養型医療施設の床数減少による影響もあるが、要支援高齢者のケアプラン作成を地域包括支援センターで対応し委託料の削減、また情報交換や情報共有のためのネットワーク会議を充実、介護予防普及啓発事業で参加者やご家族に行動や意識の変化が見られたことなど高く評価できる。

- 第3期事業計画と比較すると、介護給付費で85%、地域支援事業費で70.8%。後期高齢者医療制度や療養型病床の廃止などが影響したが、結果的に被保険者に必要以上の保険料を負担させた。地域健康づくり・生きがい活動支援事業は活発に行われたが、行政評価で廃止を決定し、運営協議会には結果報告。地域包括支援センターに正規保健師が1人という状態は早急に改善すべき。
- 介護報酬が低く、利用者の負担と介護従事者の疲弊をもたらした。認知症高齢者に対する周知、啓発、支援体制が不十分。同居の家族に負担をかけず自立した老後を送るといった希望はかなえられていない。

任 員 会 常 委 員 会 調 査 ・ 研 究 レ ポ ー ト

● 総務委員会

新型インフルエンザ対応等について危機管理機能アップを

委員長 森本 義征

総務課

新型インフルエンザの対応、古賀清掃工場のトラブル、文書配布に関する区長会との協議結果、防犯まちづくり連絡協議会の開催、豪雨対応、市民なんでも相談、法律相談等について報告を受け、質疑を行っています。

問 市が準備しているインフルエンザ対策の感染対策用セット等の対象者は。
答 サージカルマスク400人分は、職員を対象。感染対策用セット1500セットは高齢者福祉課にて対応。市民分対応については検討中。「新型インフルエンザ」の対応については、市民への正

確で確実な情報の伝達方法。緊急事案発生時の対策本部から各施設への連絡網。市が備蓄しているマスク等の備品の活用（学童保育所や学校等での優先配備）等について審議し、市の危機管理機能をより一層高めてほしい等の意見がでています。

人事秘書課

平成21年度職員採用試験、副市長の業務等について質疑を行いました。

問 8月から副市長が1人体制となっているが、条例、規則等についての対応は。
答 事務分掌を定める規則では、副市長が欠員になった場合には、残る方が事務を司る

ということになっている。一人副市長になったということであれば、各部の部長が主になってくると思う。各部長が協力して事務を行っていききたいと考えている。

市税課

税制審議会答申等について質疑をしました。

問 答申で求められた固定資産税の税率変更等はどうか。
答 今の経済状況等を勘案した上で検討し、議会等にゆだねるという形だった。次年度予算に影響するので、それまでの判断は必要。

財政課

平成20年度決算統計の結果や補助金等検討委員会、入札監視委員会答申について質疑しています。

問 古賀市の財政は健全な状態にあると認識してよいか。
答 早期健全化基準以内であるし、財政の再生基準等にも該当しないので、健全化の範囲内にあると思う。

経営企画課

平成21年度古賀市のミニバスの輸送実績、マスタープラ

ン（コンサルタント委託は、プロポーザル方式で349万6500円契約）、看護大学との官学連携協定等について質疑しました。

問 公共交通プロジェクトチームの進捗状況は。
答 交通基本方針（案）の作成。運行計画（案）の検討をしている。基本方針（案）については、公共交通会議・協議会に諮る必要があると考えている。（10月19日、中村市長より基本方針の説明がありました。詳細は別刷をご覧ください。）

土地利用政策室

第3次国土利用計画の委託を（財）九州環境管理協会に522万9千円で契約。景観基本計画の委託を（株）よかネットに441万円で契約したこと等について質疑しました。

情報管理室

（住民情報システムの再構築について、行政システム九州を構築事業者として決定したこと等）



こまめな予防で新型インフルエンザ対策を

収税課（平成20年度市税収納状況等）

経営企画課（広報こが・行事予定表の発行部数の変更等）

経営管理課（定額給付金子育て応援特別手当等）

以上の課からも詳細報告を受け、質疑しています。

委員長	森本 義征
副委員長	薄 一昭
委員	岩井 秀一
委員	奴間 健司
委員	舩越 嘉彦
委員	倉掛 小竹
委員	許山 秀仁

●文教厚生委員会

小学校の教材ソフト利用で
保護者負担の軽減と学力向上を

委員長 黒木 淳

福祉課

問 避難支援プランは進んでいるのか。

答 高齢者・障害者等要援護者といわれる方の日頃の見守りなどを含め、適切に避難・誘導させることを重点にプラン作成をしている。

高齢者福祉課

問 介護保険の認定制度が変わった。経過措置状況は。

答 対象になるのは更新申請の方で、9割以上の方が経過措置を希望された。今回の認定についての苦情はなかったが、事務が繁雑となった。

こども政策課

問 児童虐待ネットワークの現状は。

答 以前は児童虐待のみの対応であったが、昨年度から「児童虐待防止連絡協議会」が「要保護児童対策地域協議会」に移行し、児童の支援をはじめ、家庭の支援を行う事ができるようになった。学校等からの第一報があれば、協議会で情報

を持ち寄り、共有・確認し、迅速な対応ができるようになった。

教育総務課

問 耐震診断と対策は。

答 古賀中学校管理棟改築工事は完了し、震度6強程度には耐えうる。耐震補強工事は診断を行い、必要性が高いところから実施していきたい。

学校教育課

問 就学援助の状況は。

答 数は例年と変わらないが、経済的に厳しい家庭もある。

問 保護者負担を軽減してほしいが。

答 学校に教材費などの保護者負担を減らすよう指導中。花鶴小学校で教材ソフトを使つての徴収金軽減と学力の向上を図っている。次年度以降他の小学校に広げていきたい。

社会教育課

問 社会教育団体登録要綱は。

答 社会教育と生涯教育の振興を図るのが目的。今ある団体を整理するのではなく、社会教育団体として認め、支援していきたい。また、その他教育委員会が認める場合、減免申請で活動を支援していきたい。

たい。

サンフレアこが

問 旧給食センターの状況は。

答 市では文化財の発掘が多いことから、サンフレアこが2階の特別収蔵庫と旧給食センターに土器などを保管している。建物が老朽化しているので、当面は雨漏りの改修を行い、今後は全体的な整備計画を考えている。

学校給食センター

問 給食センター民営化後、給食の開始時期が違った理由はなにか。

答 学習指導要領が改訂となり授業日数がふえた。授業日数をふやすため、夏・秋休み期間を短縮するなど、各学校で取り組んでいる。その中で、学校給食の回数とあわせる必要があり、給食が出せない日もあり、弁当を保護者にお願いくることになった。今後は保護者に事前に文書通知を行っていきたい。



うがい、手洗いでしっかり予防（花鶴どろんこ保育園）

9月3日委員会を開き、感染が広がる新型インフルエンザの対策、特に学校・保育所・福祉施設での対応を審議。一層の感染予防対策の強化を求めました。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 黒木 淳 |
| 副委員長 | 芝尾 郁恵 |
| 委員 | 田中 英輔 |
| 委員 | 内場 恭子 |
| 委員 | 飯尾 助広 |
| 委員 | 姉川さつき |



「安心ね」耐震強化をアップ（古賀中学校）

都市計画区域全域編入、 法的手続きは県と調整

委員長 結城 弘明

市民課

平成21年度6月末人口は5万8千86人。昨年比150人増、世帯数2万2千484人。住基カード交付総数1776枚。

問 市民へ接遇アンケートを実施しては。

答 工夫をしていく。接遇の研修は毎月学習会や連絡会で

国保年金課

実施中。

国民健康保険加入世帯は7408世帯、短期証516世帯、資格者証56世帯に交付。3月比で国保加入世帯は

税の収納率は。窓口での相談業務の混乱は解消したか。

答 雇用悪化で加入者増。税の収納率は92・17%。相談は

昨年の医療制度改革、特定健診等で多忙だったが、今は落ち着いてきた。

市民共働課

平成21年度校区コミュニティ推進・支援は舞の里校区に準備会ができ、交付金決定がされた。古賀東校区は環境保全促進事業の助成金が決定。旧少年センターは改修し、ボランティア窓口となる予定。

問 文教厚生委員会と所管が

重複、業務が不透明だが。校区コミュニティの位置付けも不明確。

答 所管は市の方針で移動した。窓口は市民共働課が最適と思われる。

人権センター

第34回人権を尊重する市民の集いと第6回同和教育研究大会は12月6日に併設開催予定。

問 併設開催は内容の充実を。

答 それぞれに柱になるものを設けていきたい。

環境課

平成20年度ゴミの総量は前年比減。エコロの森と回収倉庫の古紙は増加傾向。海津木苑のし尿処理状況としては能力割合で60%〜65%。

問 回収保管庫の管理と業者の選定方法は。

答 倉庫は定期的に監視。盗難などの問題はない。業者は見積りで決定し随意契約した。

産業振興課・商工振興室

緊急雇用創出事業で竹林整備をする。農業委員の改選で議会より3人を推薦。平成21年度の米生産調整は新宮町他4町の調整で達成した。

セーフティネット融資の対象業種を拡大。経済危機で融資制度の有効利用を期待したいとの意見がでた。

都市計画課

調整区域編入にともなう地区計画は7月より土地利用政策室、事務手続きは都市計画課が担当する。

問 地域への説明会は。

答 編入日決定後、地権者へ通知。校区単位で説明会を開催し理解を得たい。

建設課

古賀中学校管理棟建設は終了。県事業の河川のしゅんせつは継続する。

問 対応が遅い。秋以降、事業が集中し無理がでないか。

答 事業への着手が遅れ気味なので、努力する。

下水道課

農業集落排水事業で新規に薦野・米多比地区の調査設計を平成22年3月まで予定。



まちづくり基本方針の元（都市計画マスタープラン等）

水道課

本年度7件の事業を予定。給水加入率は。滞納への対策は。

答 加入率はおおむね93%。徴収率の向上に努力する。

委員長	結城 弘明
副委員長	松島 岩太
委員	前野 早月
委員	西尾 耕治
委員	船越 義彰
委員	三好 貴一

広がった国保年金課窓口



9月議会の主な審議

9月定例議会（9月1日～28日）の主な議案審議の要点を報告します。

子育て応援特別手当など

補正総額 2億4758万7千円

この補正予算は、歳入では普通交付税額確定で増、地域活力基盤創造交付金、子育て応援特別手当交付金、安全安心な学校づくり交付金、保育所緊急整備事業費補助金の増などです。

歳出では、コミュニティ活動助成金を活用した和太鼓公演活動と環境保全促進事業の海岸清掃環境保全事業に290万円。小学校就学前3年間に該当する子どもを対象に手当てを支給する事業に6236万9千円。地域活力基盤創造交付金で消防ポンプ車購入に170万円。教育振興事業費では、学習指導要領の改訂にともない新たに必要な理科教材備品の購入の経費に292万円などです。

- どの質疑がありました。
- 問 防犯灯の設置場所とその保守点検はどうなのか。
- 答 電源はソーラー1基100万円で3基を設置。
- 問 住宅手当支給の資格は。
- 答 離職2年以内で就職に意欲のある人。13世帯に支給。
- 問 私立保育所の待機児童は。
- 答 待機児はゼロ。各保育所の計画もあり、安心子どもプランで定員を20人増の計画。
- 問 クロスパルが案内表示設置で利用者増への効果は。
- 答 ふえることを期待する。
- 問 古賀中学校に新築される弓道場の緊急性は。現弓道場は問題もある。使い方は。
- 答 同時に8人が使える規模で、全市民で使う予定。
- 採決の結果、賛成全員で可決しました。

市民生活に密着した活用を期待

私立保育園施設整備補助事業
 五所保育園に整備事業補助
 1億455万円

JR千鳥駅改良事業
 JR千鳥駅東側駐輪場及び西側の用地購入費用
 894万2千円

農業経営効率化事業
 粕屋米のブランド化の促進
 JA粕屋が所有する米乾燥調整施設の改良に
 339万6千円

セーフティネット
 支援対策事業補助金
 離職者向け住宅手当の支給
 320万円

地域活力基盤創造交付金
 グリーンパークと関係施設への案内表示板 6基を設置
 976万5千円

地域活力基盤創造交付金
 防犯灯設置工事3カ所
 300万円

安全安心な学校づくり交付金
 古賀中学校に弓道場を新築
 7,647万2千円

※国の方針により、子育て応援特別手当はとりやめとなりました。(10月19日国より通達)

否決 市長選と市議選を同日にすることを求める請願書

経費の削減や市職員の作業効率、公共施設の利用推進、投票率の向上などを理由とし、市長選と市議選を同日にするため議会に特別委員会を設置することを求める請願が提出され、議会運営委員会に付託され2日間、活発な審議が行われました。

問 議員は努力すべき。経費削減と投票率アップになる。痛みはわかるが削減額は大きい。

答 なぜ特別委員会の設置か。

問 議員全員にかかわる問題。全員で話しあうべき。

問 削減額約800万円の根拠は。

答 2006年の臨時議会・マスコミの資料から。

問 この請願の直前に同じ趣旨の要望書が来た。これに対して議会が行った回答(7月30日付)では不十分だったのか。

答 そうは言わないが、請願が市民の民意だ。

問 付託を受けた議会の責任を全うすべきだが。議員により報酬を5%カットしている。更なる削減とは。

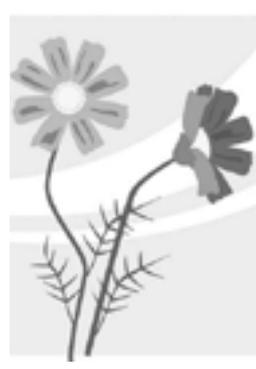
問 なぜ、市会議員選挙(いつせい地方選挙)に合わせないのか。同日選でない自治体数は県下の3分の2あるが。

答 市長選を続けて2回しなければならなくなる。

委員会では賛成少数で否決されました。

反対討論

古賀市の財政を厳しいものにしていくのは、「小泉構造改革」による大幅な国の交付税削減が原因。議会の解散は重たいもので、この請願の要旨では議会の自主解散に値する根拠や世論の動向に値するも



のではない。政治不信は真摯に受けとめ、市民との対話を積極的に行っていきたいとの反対討論がありました。

賛成討論

市民の請願権は当然の権利、願意は妥当なもので受けるべき。職員が本来の職務へ専念できるようにすべき。市民の願い、署名を受けて特別委員会を設置すべき。同日選挙を行うことは経費削減に有効な方法。議会改革のためにも採

9月議会 主な議案の議員別賛否一覧

	市長選と市議選を同日に実施することを求める請願	副市長選任について	有床診療所の存続と活用に向けた対策を求める意見書	平成21年度一般会計補正予算	平成20年度後期高齢者決算	平成20年度国民健康保険決算	平成20年度一般会計決算
結果	不採択	不同意	可決	可決	認定	認定	認定
表決数	6:11	7:10	15:2	19:0	11:5	11:5	13:4
岩井 秀一	○	●	○	○	○	○	○
田中 英輔	●	○	○	○	●	●	●
奴間 健司	●	○	○	○	●	●	●
船越 嘉彦	○	○	●	○	○	○	○
内場 恭子	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠
芝尾 郁恵	○	○	○	○	○	○	○
前野 早月	●	○	○	○	●	●	●
森本 義征	○	●	○	○	-	-	○
薄 一昭	○	●	●	○	○	○	○
西尾 耕治	○	○	○	○	○	○	○
黒木 淳	欠	欠	欠	○	欠	欠	欠
船越 義彰	○	●	○	○	○	○	○
松島 岩太	○	●	○	○	○	○	○
三好 貴一	○	○	○	○	●	●	○
飯尾 助広	○	●	○	○	○	○	○
倉掛 小竹	●	●	○	○	●	●	○
結城 弘明	○	●	○	○	○	○	○
姉川 さつき	○	●	○	○	○	○	○
許山 秀仁	○	●	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 - は退席 議員は議席順

否決 現職部長を副市長にとの人事

古賀市では、副市長2人制をとっておりますが、7月に1人退職し、空席になっていました。9月議会最終日に、市長は副市長職に現職部長を充てたいとの人事案を提出しました。採決の結果、賛成7人、反対10人(欠席2人)で否決されました。

採すべきとの賛成討論がありました。 れました。 本会議で賛成少数で否決さ

一般質問

道州制には経済などの基盤強化が望まれるが

(答) 持続可能な財政基盤の確立が急務である



岩井 秀一
 (四葉会)

正し、多様性のある国土形成を図ることや、国県との二重行政の解消による行革の実現と考える。

問 長期的視野に立つて取り組む問題であり、世論の喚起や合意が必要と考えるが。

市長 道州制や合併を推進する原動力は、議会や市民の力である。行政としては市民力を引き出すため、その必要性

問 道州制導入に対する所感は。

市長 地方分権を進める中で、導入は必要であり、九州府としてまとめれば、飛躍的な発展の可能性が強いと考えている。

問 合併問題の現況や進展は。

市長 大きな進展はないが、庁内にプロジェクトを立ち上げ、分権型社会にふさわしい基礎自治体を作るために、第三次行財政改革に取り組んでいる。

問 道州制のメリットは何か。

市長 中央集権システムを是



未来に残せ この豊かな自然を

を情報提供することが重要と考える。

問 一昨年7月の合併提言時の思いや熱意は消えたのか。

市長 全く消えてはいない。

この議論を地につける、地道な努力が現段階では必要だと考える。今後も最善の努力を続ける。

問 強い基礎自治体を目指すには財政問題は不可避である。投資的経費が少なく感じるが。

市長 第三次行革の達成について努力している。その成否を見て可及的速やかに投資的経費の回復をやりたいと考えている。

全市、都市計画区域編入の見通しは
(答) 予定通り実施したい



飯尾 助広
 (四葉会)

問 編入の影響をどう見るか。

市長 無秩序な開発を抑制し全市的な農業や自然環境と調和のとれた土地利用が図られる。土地利用規制がかかることから地価低下が予想される。

問 当地域の発展は古賀市の発展に寄与してきたと思うが。

市長 その歴史的使命は終わった。今後は地区計画などで

質を高めていくことが必要。

問 地区計画をどう進めるか。

市長 編入後、平成23年度以降に要望や地域の機運の高まりに応じた形で検討したい。

問 自然環境保護という点では森林環境保全条例はどう運営されているか。

市長 地域説明、区域設定などから進めるべきだが全く手がつけられていない。

問 編入地区では「平成22年編入」の報告だけで住民の不安が広がっている。編入決定前に地区計画、農業振興策、生活環境・自然環境の整備な

対策が望まれる。



今後は住宅の建設が困難に

ど今後のあり方を協議すべきではないか。編入の時期の延期は考えられないか。

市長 延期は考えていない。住民説明会は関係課、プロジェクトチームで実施したい。

問 都市計画区域への編入は今後のまちづくりにとって必要とは考えられる。しかし、地権者の土地資産価値の低下、今後の農業施策の見直しへの不安、コミュニティの衰弱に対する地区計画の見直し、自然破壊への対応、生活環境整備計画など将来に対する見通しが全く担保されない状態である。「まず編入ありき」は問題である。今まで40年近く、現在の状況になるまで放っておいた行政の責任は大きい。地域住民が納得できる対応と対策が望まれる。

**裁判員制度を受け「法教育」はどう進める
(答) 今後充実するものと考ええる**



姉川さつき
(四葉会)

問 国民の司法参加に向けた教育について、文科省は早い段階から、学校で扱う必要があるとしているが、考え方は。
教育長 社会の基本的ルールについて学ぶ法教育は、公民的資質を育成する上で、非常に重要である。

問 新たな制度としての裁判員制度は、選ばれる確率は、福岡は2番目に高い。研修等を市民に広げる考えは。
教育長 生涯学習事業、公民館教養学級等の講座として、取り入れる必要がある。

問 制度の開始をチャンスとし、社会を共有している意識や、良くしていこうという発信になる。秩序を守るには法

律は不可欠。市民向けの講演会等に取り組んで頂きたい。

問 スポーツ振興基本計画が策定されたが活用は。
教育長 具体的な活用についてはアクションプランに盛り込む。

問 古賀市のスポーツ実施率は30・7%。全国にも福岡県平均にも遠く及ばない。各課の健康についての事業、目的、データの有効な活用が出来るかという結果では。



古賀中に移転が決まった弓道場

市長 もっと各課、関係者が知恵を絞っていくことが肝心。
問 中学で武道が必修となるが、選択内容と指導者は。
教育長 柔剣道を中心とし、弓道については、古賀中学校に社会体育と併用できる弓道場を建て、選択肢を広げたい。

**新型インフルエンザから市民を守るには
(答) 対策は「予防」に尽きると考える**



内場 恭子
(無党派)

問 新型インフルエンザの本格的流行、感染が予想される。発生状況は、対策は。高齢者や乳幼児、児童への対応は。
市民 への周知は。医療機関や保健所との連携は。
市長 市内学童と保育園で集団発生。保育所、小中学校でも確認。「手洗い、うがい、せきエチケットの励行」の感染予防の啓発をしている。粕

問 子どもに関する政策の一元化のため「子ども係」を新設しては。
市長 ニーズや施策が多様なことから、各課の連携は必要。
問 連携は弱くデータはバラバラ。総合的に把握をして、次の事業に生かすべき。

屋保健所とは休日・時間外も連絡が取れるようしている。
教育長 保護者にプリントを配布し、予防対策の周知徹底を図っている。

問 全市民への予防措置と医療機関受診、治療ができる対応を求めたい。救急病院等の連絡先などまとめたチラシを配布してほしい。

市長 感染予防啓発が重点。広報こがや市ホームページで周知を。市内施設での手指消毒剤の設置を行っている。

総務部長 市民周知の内容と対応は検討する。
問 ワクチン接種の補助は。



市民を守る対策の強化を

市長 今後、国の助成制度を含めて検討していく。
後期高齢者医療制度は廃止に
問 後期高齢者医療制度で短期証、資格書発行はあるのか。高齢者医療への考えは。後期高齢者医療制度の医療費を無料化してほしいが。
市長 広域連合の資格書運用は平成22年度から。今、対象者の確定はできない。この医療体制を継続可能なものにするため、骨格は堅持しつつ改善すべきは改善することが重要。市独自の窓口負担無料化は考えてない。
問 日野市等は医療費自己負担無料にしている。世界で類のない高齢者を差別する後期高齢者医療制度の廃止は当然。

**相談事業は縦割りではなく、全庁的な視点を
(答) 連携は必要であれば当然やっつけていく**



倉掛 小竹
(山海会)

問 古賀市の消費者相談窓口は今年で7年目になる。まだ知らない人も多く周知が十分では。

商工振興室長 広報やホームページで周知。わかりやすい窓口として今後考えていく。

問 多重債務者は地方税や国保なども滞納している可能性が高い。債務整理をすれば支払い可能になる人は7割と言われる。

商工振興室長 過払い金請求などの取り組みをしている市町村もある。収税課とは話している。

問 自立に向けた生活立て直しは生きる意欲にもつながる。収税課、国保年金課、福祉課

など住民への接触が多く多重債務者の掘り起こしに機能發揮できると思うが、全庁的な連携は。

商工振興室長 公的貸付資金などもある。社協、家庭支援室とも連携していきたい。

問 週2回の窓口を常設にしている。

商工振興室長 県とも連携している。情報一元化のためのネットワークもあり、そういった方法で拡充している。



相談事業は市民課題を知る重要セクション

問 ネットワークを利用する事で入力作業なども増える。高齢者に多いクーリングオフの手続きなど、週2日では業務量が多すぎるのでは。今後の掘り起こしによって相談がふえるとして、開設日をふやしてほしい。中高生への啓

発事業も重要。
発達障がい児・者支援について

問 相談窓口はストレスのないアクセスと、生涯にわたる切れ目のない支援を。
市長 各課連携組織は意見として承る。

**(答) 安全で安心な水の供給と区域拡大の考えは
給水区域外は希望を基に拡大を検討する**



田中 英輔
(山海会)

を支える安全な水の確保と普及の対応は。

市長 老朽施設の計画的な更新や水源確保、給水区域内の加入者増に努め、需要拡大を図る。給水区域外は加入希望状況等を踏まえて区域拡大を検討する。

問 給水区域外や、専用水道の利用者は、維持管理が所有者で実施され、設備の老朽化、居住者や管理者の高齢化などから維持管理を心配される声を聞く。供給に余力もあり、水道普及及向上の点から意見聴取やアンケートなどを行い、意向を把握し利用拡大へ結び

たい。



進む新水源「北部福岡緊急連絡管」工事

つけていくという目標を持った取り組みをすべきでは。
水道課長 今後管理運営等が困難な場合、要望等があれば、対応したい。

区域の拡大等については、今後の水道事業の中での検討課題としたい。

公園、遊び場整備の方向は

問 最も優先してほしい事項として「公園や広場、遊び場の整備状況」が要望の1位に上がっている、特に花見地区では公園も少なく強い要望がある、整備の考えは。

市長 新たな公園整備は用地確保が非常に困難である。宅地開発に伴い、公園の確保を推進し適地があればその都度検討したい。

市民の命を守るため自殺予防・薬物防止対策を (答) 今後、取り組まなければならない問題と考える



芝尾 郁恵 (公明党)

問 わが国では自殺者が11年間連続して、3万人を超えている。国は平成18年に、自殺対策基本法を成立させ、翌19年には、自殺総合対策大綱を決め、社会全体でこの問題に取り組みることになっている。重要施策として、①自殺の実態を明らかにする。②国民一人ひとりの気づきと見守りを促す。など具体的に示されている。市での自殺者の現状と見解は。

市長 平成18年度20人、19年度18人の方が自殺に至っている。その背景には、いじめ、家庭や就労問題、病气、介護疲れなど、さまざまな社会的背景があると考える。

	2008年(1~6月)	2009年(1~6月)
覚せい剤の押収量	40.9kg	262.7kg(6.4倍)
大麻草の押収量	758本	6361本(8.3倍)
大麻草犯検挙件数	1681件	1907件(13.4%増)
大麻草犯検挙人員	1192人	1446人(21.3%増)

警察庁「平成21年上半年の薬物・銃器情勢」

拡大する薬物汚染から市民を守る対策を

問 市が取り組む自殺予防に向けた具体的な対策は。

市長 各種相談窓口や啓発事業の充実を図る中で、自殺防止に向けた取組を進める。

問 悩みを抱えた市民にとって相談窓口の役割は重要。対応いかに状況が変わる。各窓口の連携や職員の研修は。

保健福祉部長 相談事業は、県も合わせて35事業。横断的な連携をして支援している。うつ病をテーマに講演会も。

問 相談内容に沿った市民が一目でわかる電話相談を含む相談窓口一覧表が必要。

市長 早い時期に知らせる。

問 他市では「命を守る緊急総合対策」として市税の滞納者を、法律相談や弁護士に繋ぎ、多重債務の解決を促している。

平和市長会議加入を契機に平和の取り組みを (答) 古賀市独自の取り組みを検討していく



前野 早月 (希来里)

問 今年5月に平和市長会議に加入した経緯は。

市長 似たような会議があるが最適と判断し加入した。

問 平和市長会議の目的は。

市長 核のない平和な世界をつくること。

問 加入をホームページや広報で市民に発信しては。

市長 そのような方向で検討。

問 平和市長会議の活動に、

いる。今後、市でも今より一歩踏み込んだ支援を望む。

薬物乱用防止対策について

問 市内で大麻の栽培事件が起きた。薬物乱用防止対策に力をいれるべきでは。

市長 今後取り組まなければならない問題と考えている。

広島長崎議定書に賛同する首長署名活動がある。昨年9月に署名しているが説明を。

市長 核兵器廃絶が一番大きなポイント。全面的に賛成することから署名した。

問 古賀市も核兵器廃絶のために活動すると理解するが。

市長 そういう趣旨で今後ともやっていきたい。

問 この機会に日本非核宣言自治体協議会に参加しては。

市長 検討させていたたく。

問 来年8月には全庁的に平和、核兵器廃絶の取り組みが実施されると確認するが。

市長 古賀市独自の平和の取



核廃絶訴える被爆体験者 (平和の集い)

り組みを行っていく。必要性が高まる独自の公共交通体系について

問 中村市政11年間で公共交通の利便性は高まったのか。

市長 総合的に見れば利便性は高まった。

問 市長選のマニフェストに公共交通手段の確保を明記している。市長自身で循環バスに乗るなどの調査や体験は。

市長 他市町のコミュニティバスに乗ったことはない。

問 公共交通は動く公共施設。バスだけに採算性が求められることは不満。それ以上に利用者は不安。来年度1年間も現状通り運行できるか。

企画政策部長 市が赤字補填すれば西鉄バスの撤退はない。

**4年連続の借金減や積立金維持はすごいこと
(答) 初めてののおほめ。緩むことなく運営する**



奴間 健司
(希来里)

問 政権交代をもたらした総選挙結果をどう見るか。

市長 閉塞感からともかく抜け出したい、改革をされる立場にいながらやらなかった自民党への不満が要因。

問 小泉構造改革推進の市長への評価でもあるのでは。

市長 そういうことは考えたことがなかった。

問 改革政治により古賀市でも2000万円以下の所得層が拡大し格差が拡大している。

市長 格差の傾向はないと思う。しかし、貴重な見方として受けとめ、詳しく見たい。

問 **中村市政11年間の財政状況**

市長 財政状況をどう見るか。扶助費の増加、三位一

体改革の影響による交付税の削減により投資的経費を縮小し、インフラにほころびが見え始めた。

問 グリーンパーク事業の縮減で、公債費が3億円以上も減少し、実質収支の黒字、經常収支比率の改善となった。

市長 経営改善の目標を達成しつつある。

問 市長は、職員を少数にするから精鋭になるといえるか。

市長 多い仕事を少ない人数



◆◆ 平成 21 年古賀市議会第 3 回定例会会期日程 (案) ◆◆

会期 12月1日～12月15日 15日間

日	曜	開議時刻	摘 要
15	火	9時30分	開会、会期の決定、会議録署名の議員の指名、諸報告、議案上程(内容説明・大綱質疑)、一部議案は質疑(委員会付託)討論・採決、請願上程・委員会付託
14	月	9時30分	常任委員会
11	金	9時30分	常任委員会
10	木	9時30分	常任委員会
9	水	9時30分	常任委員会
8	火	9時30分	初日上程議案の質疑(討論・採決)、追加議案の上程(内容説明・大綱質疑)
4	金	9時30分	一般質問
3	木	9時30分	一般質問
2	水	9時30分	一般質問
12/ 1	火	9時30分	議案報編集特別委員会
15	日	9時30分	初日上程議案の討論・採決、追加議案の質疑・討論・採決、請願審査等、閉会中の継続審査付託、閉会

でやった方が能力も上がる。事務職は手厚くしたい。
問 保育士、学校司書、保健師、相談員等市民と接する職員が重要になっている。
市長 正規職員は公権力、企画等を担う。
問 この11年の人件費抑制・

民間委託は今後何をもたらすか立ち止まって検討を。
市長 闇雲に減らすつもりはない。職員総体で担保する。
問 学校図書司書の2010年4月の嘱託化は慎重に。
市長 再三の要望なので教育委員会と確認する。

※会期日程は、11月26日(木)の議会運営委員会で決定します。また、一般質問をする議員名、質問事項もその議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示いたします。
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。ホームページでもご覧になれます。会議録は、市立図書館にあり、貸出しをしています。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。ぜひ傍聴してください。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)
※請願書の締切り(初日付託分)は11月25日(水)午後5時です。

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

請願意見書

請願書

21年請願2
生活保護の老齢加算・母子加算復活を要求する国への意見書を求める請願

生活保護制度において2006年に「老齢加算」、本年度から「母子加算」が相次ぎ廃止されました。請願の主旨は保護費が減らされた高齢者や一人親家庭に深刻な影響が出ているとして、廃止された加算の復活を国に求めるものです。文教厚生委員会に付託、審議しました。

反対討論では老齢加算はこれからであるが、母子加算については今後復活することが

ほぼ決まっているので2項目一緒では賛成できない。また、この請願で制度の抜本的な見直しが必要であることが明らかになった。この2項目も別に判断すべきとして反対。

賛成討論では、子育て世帯の貧困はその成長、健康、教育、生活習慣などに深刻な影響を及ぼしている。憲法が保障する権利を具現化する立場から賛成。

採決の結果、委員会、本会議共に賛成少数で否決されました。

請願者 福岡県生活と健康を守る会連合会
会長 梅崎 勝

紹介議員 奴間健司、三好貴一、前野早月、倉掛小竹

21年請願3
市長選と市議選を同日とすることを求める請願書

請願者 大橋 一成
紹介議員 船越嘉彦、芝尾郁恵、姉川さつき
※議会運営委員会に付託。詳細は14頁をご覧ください。

意見書

有床診療所の存続と活用に向けた対策を求める意見書

有床診療所（19床以下の入院ベッドを備える診療所）は地域医療を支え、病院・診療所の連携を促進する医療資源です。そこで、この意見書は①有床診療所を活用する総合的施策②平成22年度の診療報酬改定において有床診療所が存続できるように入院基本料の引き上げ等を求めるものです。賛成多数で可決され、国会ならびに政府に提出しました。

提出者 前野 早月
賛成者 奴間 健司



地方自治体が進めてきた施策や事業の実施に支障が生じないことを求める意見書

政権交代により事業、予算執行の見直しが予想されます。地方自治体ですでに着手している施策や事業については支障のないよう慎重を期すことを求めるものです。賛成全員で可決され、政府に提出しました。

提出者 西尾 耕治
賛成者 芝尾 郁恵

生活保護基準額の見直しと保護受給要件の緩和を求める意見書

この意見書は「21年請願2」の願意を活かすため、廃止になった老齢加算や現行の生活保護基準額の見直し、受給要件の緩和措置を国に求めるものです。本会議において賛成多数で可決され、政府に提出しました。

提出者 黒木 淳
賛成者 芝尾郁恵、田中英輔、内場恭子、飯尾助広、姉川さつき

陳情書



新型インフルエンザ対策等の公衆衛生活動を強化するために県内保健環境福祉事務所統廃合計画の中止を求める陳情書（平成21年8月8日）

陳情者 福岡県社会保障推進協議会
会長 武田 正勝

「市長選挙・市議会選挙同日開催」を求める陳情書（平成21年8月25日）

陳情者 東 節生

市長選と市議選を同日とすることを求める要望書（平成21年7月24日）

要望者 市長選と市議選を同日とすることを求める市民の会
村山 政夫 他2人

「よさこいフェスタ IN 古賀 2009」
 9月23日



総勢 300 人の踊り子がリーパス
 プラザで「よさこい」を披露。一
 堂に会しての交流は初めてのこ
 とです。(よさこい古賀連主催)

表紙のこぼれ

市民参加で農作業が行なわ
 れている小山田区の田んぼ。
 春は、たくさん子どもた
 ちが田植えをし、収穫の日を
 むかえました。秋晴れのこの
 日、みんなで稲刈りを楽しみ
 ました。

議会 Q&A

**Q 9月議会の最終日は、いろんな議員の考えを知ることが
 出来て楽しかったです。いつもあんなに活発なんですか？**

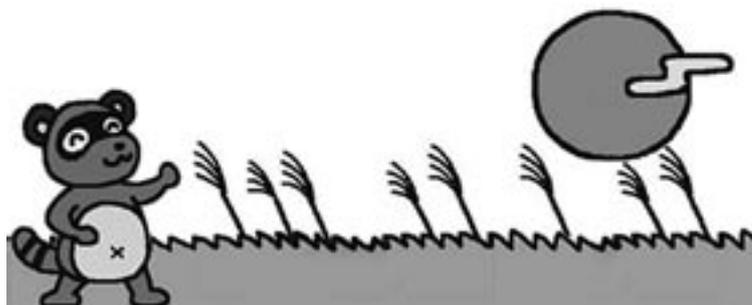
**A 確かに今議会の議案の中には、賛成 VS 反対の討論が白
 熱するものがありました。**

Q 討論の目的は何ですか？

**A 討論とは、議題となっている問題に対する自分の賛否の
 意見表明で、その目的は、自分の意見に反対する人や、賛否
 の意思を決めていない人を自分の意見に賛同させ、同調する
 人をふやすことです。**

**Q なるほど、それが賛否の判断材料になることもあるんで
 すね。**

**A そうなんです！そんな説得力のある討論となるよう頑張
 りますので、ぜひまた傍聴に来てください。**



編集後記

幼稚園の運動会を見に行
 きました。小さな身体は、
 エネルギーに満ち溢れてい
 ます。真剣なまなざしや、
 かわいい笑顔、キビキビと
 した演技に感動し、気付け
 ば園児たちに、元気を分け
 てもらっていました。まだ
 青いみかんの香りに包まれ
 ながら、私たち大人は、子
 どもたちに何ができ、何を
 残せるのかを考えました。
 新政権となり、国の制度
 も、大きく変わると思いま
 すが、子どもたちのように

真直ぐにゆつくりと成長し
 てほしいと思います。地方
 分権も今後益々進むと思っ
 ます。議会報はスピード感
 を持って、「正確さと分か
 りやすさ」をモットーに、
 皆様にお届けしていきたい
 と思います。

姉川 さつき



みごとにきまったソーラン節

お知らせ

議会の録画テープを貸出し
 ています。また、会議録の頒
 布(定例会500円・臨時会
 50円)もしています。ご希望
 の方は議会事務局にお申し出
 ください。

9月定例議会は、97人が傍聴されました。
 12月定例議会は12月1日(火)開催の予定です。
 傍聴、心より歓迎します。

議長	奴間 健司
副委員長	内場 恭子
委員	芝尾 郁恵
委員	船越 義彰
委員	倉掛 小竹
委員	姉川 さつき